



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10254968 A

(43) Date of publication of application: 25 . 09 . 98

(51) Int. Cl. G06F 17/60  
A63F 9/22  
G06F 13/00

(21) Application number: 09079161

(22) Date of filing: 14 . 03 . 97

(71) Applicant: NET BIRETSUJI KK

(72) Inventor: IIDA SHOICHI

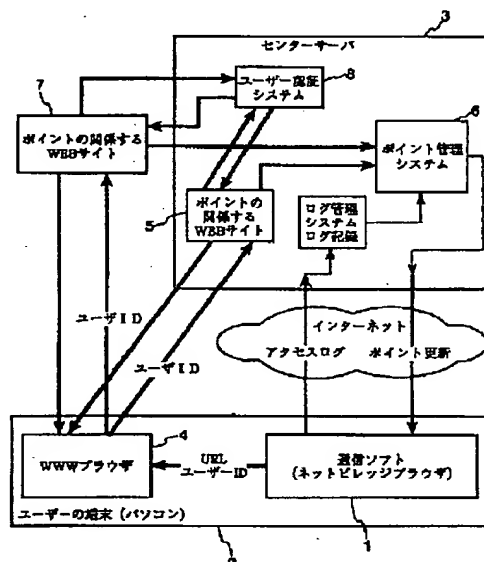
## (54) POINT MANAGEMENT SYSTEM

## (57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To occasionally supply the information to the user side in response to the dynamic needs by adding a point number to a user point data base by an amount equivalent to a relevant point, integrating the added point with the point field of a member data base in real time, and replying the added point to the user side to update the point.

**SOLUTION:** At the user side, a specific building, advertisement, etc., are clicked via a personal computer terminal 2 and a log management system 5 of a selector server 3 is accessed. The access log data sent from the communication software 1 of the user side are recorded, and an access user, the click part, etc., are specified. Then the point number of the click part is added to a point data base by an amount equivalent to a relevant point in a point management system 6. Then the added point is replied to the user side, and the point is updated at the terminal 2.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-254968

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月25日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup> 識別記号

G 0 6 F 17/60

A 6 3 F 9/22

G 0 6 F 13/00

3 5 7

F I

G 0 6 F 15/21

A 6 3 F 9/22

G 0 6 F 13/00

15/21

3 4 0 Z

G

3 5 7 Z

Z

審査請求 有 請求項の数4 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平9-79161

(22) 出願日 平成9年(1997) 3月14日

(71) 出願人 597035436

ネットビレッジ株式会社

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

(72) 発明者 飯田 祥一

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 ネット

ビレッジ株式会社内

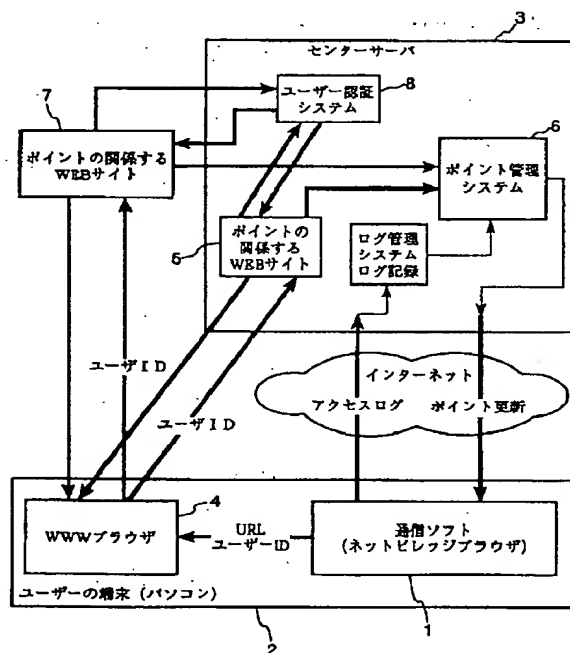
(74) 代理人 弁理士 神崎 正浩

(54) 【発明の名称】 ポイント管理システム

(57) 【要約】

【課題】 情報センターサーバ側でユーザー側での動的ログデータと共にクリックポイント数を把握管理させることにより、動的ニーズに対応した情報を随時ユーザー側に提供すると共に、ポイント対象物の特性を反映させたポイント管理を可能にする。

【解決手段】 情報センターサーバ3においてユーザー側のアクセスログデータを記録させ、アクセスユーザーの特定、クリック箇所の特定等を行なうログ管理システム5と、クリック対象箇所のポイント数をセンターサーバへ問い合わせ、ユーザーのポイントデータベースに該当ポイント分加算することで会員データベースのポイントのフィールドにそのポイントをリアルタイムに積算させ、ユーザー側へ加算後のポイントを返信させるポイント管理システム6とを備える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信ソフトにより端末操作を介して情報センターサーバにアクセスし、該情報センターサーバからコントロール情報を得る制御情報送信手段と、該情報センターサーバにより各ユーザーのアクセス情報に応じた動的ログデータが予め記録管理され、該動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて前記制御情報送信手段により動的ニーズに対応した情報が情報センターサーバから各ユーザー側へ随時提供されるものであって、該情報センターサーバにはユーザー側の通信ソフトから送信されたアクセスログデータを記録させ、アクセスユーザーの特定、クリック箇所の特定等を行なうログ管理システムと、クリック対象箇所のポイント数をセンターサーバへ問い合わせ、ユーザーのポイントデータベースを該当ポイント分加算することで会員データベースのポイントのフィールドにそのポイントをリアルタイムに積算させ、ユーザー側へ加算後のポイントを返信させてポイント更新状態にさせるポイント管理システムとを備えていることを特徴とするポイント管理システム。

【請求項2】 前記通信ソフトからWWWブラウザに送られたユーザーのID、URL情報をポイント関連サイトへ送り、該情報をポイント関連サイトから情報センターサーバにユーザー認証を行なった後、該確認情報をポイント関連サイトへ返信させると共に、ユーザーが会員であることが確認された場合に限り前記情報センターサーバにポイント管理情報をフィードバックするようにした請求項1記載のポイント管理システム。

【請求項3】 前記ポイント対象物がビル、広告、ネットワークを使ったTV放送、E-CASH利用のショッピングモール、コミュニケーション、バーチャルマネーを利用した遊び等である請求項1記載のポイント管理システム。

【請求項4】 前記ポイント対象物に予め登録されたURLがあり、URLとしての該対象物をクリックすることによりポイントが貯まる請求項1記載のポイント管理システム。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えばゲームソフト等に応用されるものであり、ユーザーがコンピュータグラフィックス等による画面表示内で仮想都市国家を構築し、その中で複数の参加ユーザーおよびサービスの間の通信を実現するための主としてインターネットの仕組みとCD-ROM等による通信ソフトを使用したポイント管理システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、ゲームソフト用のコンピュータグラフィックス等による画面表示の中に構築された仮想都市空間の中へネットワークを通じて自分の分身を送り込

み、この中で自由に生活する所謂ハイパーコミュニケーションネットワークのためのCD-ROM機構がある。また近年、インターネット経由で各ユーザーのパソコンに立体仮想空間映像を送り込む方式が現実のものとなりつつある。この種のポイント管理システムとしては、パソコンと通信モデムによる通信回線接続サービスをするプロバイダや、通信回線自体を所有するキャリアや、電話回線を大量保有してクローズドネットワークサービスを行なうパソコン通信によるものが主流であった。そして、従来では情報センターサーバ側での起動手段のみにより表示コマンド列の生成やサービスの実行処理等の指示を全て能動的に行うものとしていた。また、ある条件をクリアしたり、ゲームに勝った場合にポイントが積算されるような形式のものに限られていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の管理システムでは上記したプロバイダやキャリア、電話回線の大量保有等の大がかりな設備や人員を抱える必要があった。また、情報センターサーバ側では仮想空間を構築する目的でユーザー側に対し常時特定の指示を行なわなければ、ユーザーがどのようなサービスを利用し、あるいはどのサービス情報を頻繁に活用しているかの動向である所謂クリックポイント数を容易に把握し管理することができず、その結果、動的ニーズに対応した情報をユーザー側に提供することができないという問題点を有していた。例えば、従来ではポイント対象物をクリックしてのポイント加算や、該対象物に応じたポイント数の積算ができなかった。

【0004】そこで本発明は、叙上のような従来存した問題点に鑑み創出されたもので、従来の回線接続サービスをするプロバイダや、回線自体を所有するキャリアや、電話回線を大量保有してクローズドネットワークサービスを行なうパソコン通信や、情報センターサーバ側でユーザーに対する指示を能動的に行なわせたりする必要性を皆無と成し、また単なるパソコン上の通信ソフトの一つとしてであって、従来のようにWWWブラウザを選ぶような必要性を皆無と成し、ユーザー側での動的ログデータと共にクリックポイント数を情報センターサーバ側で常時把握管理させることにより、動的ニーズに対応した情報を随時ユーザー側に提供することができるポイント管理システムを提供することを目的としたものである。つまり、各ポイント対象物に応じたポイント数を予め設定しておき、該対象物がクリックされた際にセンターのセンターサーバに照会することにより、ポイント対象物が何であるかによりその特性をポイント情報に反映させることができるようにすることを目的としたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述した目的を達成するため、本発明にあっては、通信ソフトにより端末操作を

介して情報センターサーバにアクセスし、該情報センターサーバからコントロール情報を得る制御情報送信手段と、該情報センターサーバにより各ユーザーのアクセス情報に応じた動的ログデータが予め記録管理され、該動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて前記制御情報送信手段により動的ニーズに対応した情報が情報センターサーバから各ユーザー側へ随時提供されるものであって、該情報センターサーバにはユーザー側の通信ソフトから送信されたアクセスログデータを記録させ、アクセスユーザーの特定、クリック箇所の特定等を行なうログ管理システムと、ユーザーのポイントデータベースを該当ポイント分加算することで会員データベースのポイントのフィールドにそのポイントをリアルタイムに積算させ、ユーザー側へ加算後のポイントを返信させてポイント更新状態にさせるポイント管理システムとを備えていることを特徴とする。前記通信ソフトからWWWブラウザに送られたユーザーのID、URL情報をポイント関連サイトへ送り、該情報をポイント関連サイトから情報センターサーバにユーザー認証を行なった後、該確認情報をポイント関連サイトへ返信させると共に、ユーザーが会員であることが確認された場合に限り前記情報センターサーバに情報をフィードバックするような構成とできる。前記ポイント対象物がビル、広告、ネットワークを使うたV放送、E-CASH利用のショッピングモール、コミュニケーション、バーチャルマネーを利用した遊びや投資等であるようにすることもできる。前記ポイント対象物に予め登録されたURLがあり、URLとしての該対象物をクリックすることによりポイントが貯まるようにすることもできる。

【0006】本発明に係るポイント管理システムにおいて、クリック対象箇所のポイント数を情報センターサーバ側のデータベースの問い合わせでユーザーのポイントデータベースに該当ポイント分加算することでもって会員データベースのポイントのフィールドにそのポイントをリアルタイムに積算させ、ユーザー側へ加算後のポイントを返信させてポイント更新状態にする。また、情報センターサーバにより各ユーザーの通信ソフトを介してのアクセス情報に応じた動的ログデータが予め記録管理され、該動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて前記制御情報送信手段により動的ニーズに対応した情報が情報センターサーバから各ユーザー側へ提供され、従来情報センターサーバ側で行なっていたサービス処理表示生成をユーザー側のパソコン端末のみで行なえるため、ユーザー側での動的ログデータを情報センターサーバ側で常時把握させることにより、動的ニーズに対応した情報を随時ユーザー側へ提供される。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明すれば、予めサービス提供者により例えばネットワークを使ったTV放送、E-CASH利用の

ショッピングモール、コミュニケーション、広告、バーチャルマネーを利用した遊び投資等その他の新規情報のサービス処理情報内容が記録設定された通信ソフト1としてインストールされる所謂CD-ROM等を予め複数のユーザーに送付され、該通信ソフト1により通信モデム等のユーザーのパソコン端末2の操作を介してセンターサーバ3にアクセスされるものである。そして、例えば通信回線モデム等による周知の制御情報送信手段によりセンターサーバ3から通信ソフト1をコントロールする情報を得て、該コントロール情報に基づきユーザー側において情報処理が実行されるのである。こうしてセンターサーバ3により各ユーザーの通信ソフト1を介してのアクセス情報に応じた動的ログデータが予め記録管理され、該動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて前記制御情報送信手段により動的ニーズに対応した各サービス情報がセンターサーバ3から各ユーザー側へ随時提供されるものとされている。このセンターサーバ3と通信ソフト1との交信はインターネットを介して行なわれる。

【0008】具体的なシステム全体像としては、図1に示すように、ユーザーのパソコン端末には、例えばCD-ROM等によりインストールされる通信ソフト1と、該通信ソフト1により対象URL、IDの操作で起動されるWWWブラウザ4とがある。また、センターサーバ3側にはユーザー側の通信ソフト1から送信されたアクセスログデータを記録させ、アクセスユーザーの特定、クリック箇所の特定等を行なうログ管理システム5と、クリック対象箇所のポイント数をセンターサーバ3に問い合わせ、ユーザーのポイントデータベースに該当ポイント分加算することで会員データベースのポイントのフィールドにそのポイントをリアルタイムに積算させ、ユーザー側へ加算後のポイントを返信させてポイント更新状態にさせるポイント管理システム6とを備えている。また、センターサーバ3内のWEBサイト8あるいはセンターサーバ3外にある一般WEBサイト7があり、前記通信ソフト1からWWWブラウザ4に送られたユーザーのID、URL情報をポイント関連サイトのWEBページへ送り、該情報をポイント関連サイトからセンターサーバ3にてユーザー認証を行なった後、該確認情報をポイント関連サイトへ返信させると共に、ユーザーが会員であることが確認された場合に限り前記センターサーバ3にポイント管理情報をフィードバックするようにしてある。

【0009】すなわち、具体的なシステムフローとしては、図2に示すように、ユーザーはセンターサーバ3により予め会員の登録がなされており、ユーザー側のパソコン端末2において、パソコンへ通信ソフト1のインストールが実行されれば、インターネットへ接続されると共に通信ソフト1が起動される。このとき、ユーザー側ではパソコン端末2において、特定のビル、広告等をク

リックさせれば、そこからセンターサーバ3のログ管理システム5へアクセスしログ情報の記録と同時にアクセスユーザーの特定とクリック箇所の特定を実行し、ポイント管理システム6にてクリック箇所のポイント数をユーザーのポイントデータベースに該当ポイント分加算する、そしてユーザー側へ加算後のポイントを返信し、ユーザー側でのパソコン端末2においてポイントが更新され得る状態となる。

【0010】また、ユーザー側ではパソコン端末2において、ポイント関連サイトへアクセスする場合、予めユーザーは会員ID、パスワード情報を保有しており、前記通信ソフト1からWWWブラウザ4に送られたユーザーのID、URL情報をポイント関連サイトへ送り、該情報をポイント関連サイトから一旦はセンターサーバ3に照会を行ない、会員であるか否かを確認させた後、該確認情報をポイント関連サイトへ返信させると共に、ユーザーが会員であることが確認された場合には何らかのイベント加減算ポイントを決定させてから再度センターサーバ3のポイント管理システム6へ送り、ユーザーのポイントデータベースを該当ポイント分加算する、そしてユーザー側へ加算後のポイントを返信し、ユーザー側でのパソコン端末2においてポイントが更新され得る状態となる。一方、ユーザーが会員でない場合にはポイント関連サイトからユーザー側のパソコン端末2のWWWブラウザ4へお断りメッセージが送られてきて表示されるのである。

【0011】次に、本発明の使用の一例を説明するに、ポイント管理システム6を構成する通称ネットビレッジはユーザーのアイデアを受けて共同して構築される仮想都市国家であり、通信サービスのユーザー同士のリアルタイムな情報交換を伴うサービスシステムでもある。このネットビレッジ内ではその中でのみ使用できるバーチャルマネーである「エヌビー」という通貨があり、ユーザーはこのエヌビーを貯め、あるいは使うことによってネットビレッジ中で生活するものとされている。このエヌビーは基本的にはビルや広告等の対象物をクリックすることによってポイントが積算されて貯まる仕組みになっている。勿論、それ以外でもバーチャルビジネスや投資あるいはアンケートに答えることによってポイントが貯まるのである。このとき、ビルや広告(What's New含む)には夫々予めそれをクリックすると何ポイント貯まるかという情報をもっている。ユーザーがある対象物をクリックすると、そのユーザーのログ情報がセンターサーバ3へ送信され、会員データベースのポイントのフィールドにそのポイントがリアルタイムに積算されていくのである。

【0012】ユーザー側から見れば、上記情報内容としては、例えばパソコン通信を支えている会議室の仕組みを発展させて、画像、映像、音声等を表示させながら議論できる場を好きなテーマで自由にビルの形でオープン

でき、自分の意見を自由に表明できる環境である住民同士のメッセージ交換(国会)、住民がネットビレッジの構成要素である各種の建造物にアクセスすることで得られるバーチャルマネーエヌビーを自らのアイデアで消費させる事業経営(バーチャルビジネス)等が可能なものとされている。また、ネットビレッジ内でユーザーの家を建てることにより、外出時でも自分宛のメールやメッセージを携帯電話等を利用してメッセージの着信を確認したり、メッセージ内容を最寄りのFAXに転送できるサービスが使えるものとしている。さらに、ゲーム感覚でマウス一つでアクセスさせることで、自分が常時利用するWEBページを集めて自分だけの街を作ったり、業務報告や会議ボードとして特定のユーザーしか利用できない会議室を開設したり、ビジュアル入りの報告例えばプロダクト毎の進捗状況、展示会の様子、他社新製品をデジタルカメラで撮影して報告する等の意見交換を可能にする。そして、リンク元の企業や個人から見ると住民がいつどのWEBサイトを訪問(クリック)したかはセンター3であるネットビレッジは住民アクセスログデータとして全て捕捉されており、企業がネットビレッジ内に例えばビルの形で自社ホームページを開設(リンク)することでリンク元には受動的メリットが発生する。

【0013】

【発明の効果】本発明は以上のように構成されており、特に、従来の回線接続サービスをするプロバイダや、回線自体を所有するキャリアや、電話回線を大量保有してクローズドネットワークサービスを行なうパソコン通信や、情報センターサーバ側でユーザーに対する指示を能動的に行なわせたりする必要性を皆無と成し、また単なるパソコン上の通信ソフトの一つとしてであって、従来のようにWWWブラウザを選ぶような必要性を皆無と成し、ユーザー側での動的ログデータを情報センターサーバ側で動的ログデータと共にクリックポイント数を常時把握し管理させることにより、動的ニーズに対応した情報を随時ユーザー側に提供することができる。また、予めビル等に設定されたURLをクリックすることにより、データベースにポイントが積算されるという仕組みは従来ではなかったものであり、これはポイント対象物の特性に合わせたポイント管理を可能にするものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態を示したシステム構成図である。

【図2】同じく図1におけるシステムフローチャートである。

【符号の説明】

1…通信ソフト 2…パソコン端末  
3…センターサーバ 4…WWWブラウザ

8…センター内

【図2】

